

平成13年度第2回幹事会報告

2001年7月12日
於：淀川キリスト教病院

[報告・協議事項]

事務局（総務・会計）：(1)会員異動：別掲参照。
(2)第78回近畿地区医学図書館協議会例会（4/27 京都府立医大）小田中徹也、山室真知子出席。
(3)第72回日本医学図書館協会総会（5/17-18 宇都宮：独協医大）小田中徹也、山室真知子出席。
(4)近畿地区医学図書館協議会平成13年度シンポジウム実行委員会（6/20 滋賀医大）に林伴子出席。(5)医学情報サービス研究大会（6/23-24 松山）で大橋真紀子発表。「京都大学大学院医学研究科と近畿病院図書室協議会におけるEBM情報システム・ワーキンググループ活動－中間報告－」。(6)フォリオの閉鎖（6/30）と有志によるリテリスの公開（7/1）。(7)会計中間報告。

研修部：第10回勉強会（5/9 大阪府立母子保健総合医療センター）、テーマ：オンラインジャーナルの登録手続きのしかた。参加者17名。第11回勉強会（6/13 星ヶ丘厚生年金病院）、テーマ：図書室業務の初歩。参加者20名。また、この勉強会を利用して研修部会を併催。次回勉強会は8月下旬に、Excelをテーマにして開催予定。研修会は10月、来年1月に開催予定。また、見学会を11月に予定。

会誌編集部：会誌第26巻1号の発行経過報告。2号は7月下旬に順調に発行予定の見込み。3号は10月上旬に発行予定であり、企画検討中。論文には執筆料3,000円（図書券）を払う。ただし、会員の図書室担当者と業界関係者は除く。「原稿取り扱いマニュアル」を作成する予定である。会誌送料の経費が号毎に高騰しているのので原因を探り、同封はなるべく避けるなど対策を考える。2号目次、3号企画案、会員・購読会員一覧を資料として配布。

統計調査部：9月中にデータ回収予定。

目録編集部：現行版の発行準備を開始。データ処理については従来どおりサンメディアに委託。印刷と発送については病図協の担当者で行う。

[協議・決定事項]

(1) 病図協パンフレットの編集作業プラン：

会長、事務局長、総務、会計、編集、研修、目録、統計調査、各種委員会からのデータ提出を早々に済ませる。

(2) 著作権に関する文化庁訪問：

著作権については、今年度取り組むべきとの要望が第1回幹事会で出されていたことも受け、文化庁に出向き病院図書館の立場を説明し、第31条の適用を要望することにした。その要望書草案（首藤佳子作成）について検討した。これに基づき、7月25日に文化庁を関係者が訪問した。（別掲記事参照）

(3) LITERISへのサーバスペース提供：

共同事業は平成12年度をもって中止することになったが、フォリオについては有志で継承すること、これに病図協のサーバスペースを提供支援することは、第1回幹事会で了承されていた。病図研では有志へのフォリオの継承は承認されなかったため、7月1日新サイト「リテリス」が有志で開設・公開された。これについても、会員への還元の意味とその意義を考え、病図協のサーバスペースを提供することが了解された。なお、当リテリス上で病図協がサーバスペースを提供支援していることを銘記するのが、関係が明確となって望ましい。

(4) 病図協ホームページの更新について：

更新の遅れている当ホームページを8月中にはレイアウトを一新し、なんとか更新したい。作業協力者として須井麻由美の他、星ヶ丘厚生年金病院図書室の担当者も参加してもらうことが了解された。